

国内旅行も海外旅行も、世界最大級の総合旅行サイト・エクスペディア

世界30ヶ国 有給休暇・国際比較調査2017

日本の有休消化率、2年連続 世界最下位

有休取得に罪悪感を感じるも、転職で求めるもの1位は「有休」

世界最大級の総合旅行サイト・エクスペディアの日本語サイト、エクスペディア・ジャパン(www.expedia.co.jp)では、毎年恒例の有給休暇の国際比較調査を実施しました。世界30ヶ国18歳以上の有職者男女計15,081名を対象とした2017年の結果を発表いたします。

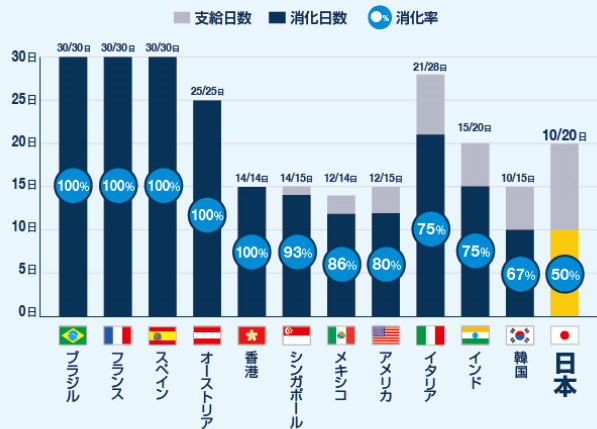
[調査結果]<https://welove.expedia.co.jp/infographics/holiday-deprivation2017/>

日本の有休消化率、2年連続 世界最下位！

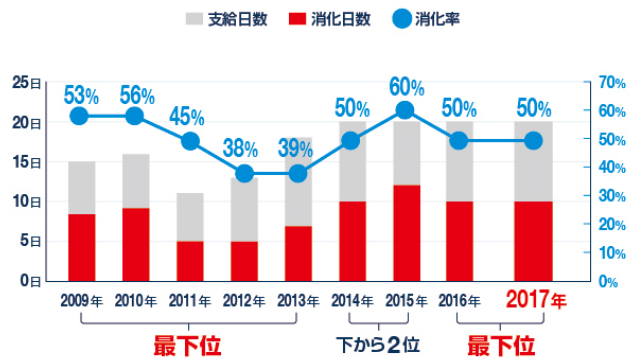
昨今、日本では「働き方改革」や「休み方改革」が推進されていますが、今年は昨年同様、有休消化率が世界最下位という結果になりました。2014年以降、最下位を脱していましたが、昨年にまた最下位となり、今年も回復を見せませんでした。

また、日本の次に有休消化率が低い韓国は、昨年の53%から今年は67%まで回復したことから、日本の有休消化率より17%も上回る結果となり、昨年よりも差が開いてしまいました。

日本人の有休消化率、2年連続最下位...



日本の有休消化日数・有休消化率の推移



Expedia.co.jp

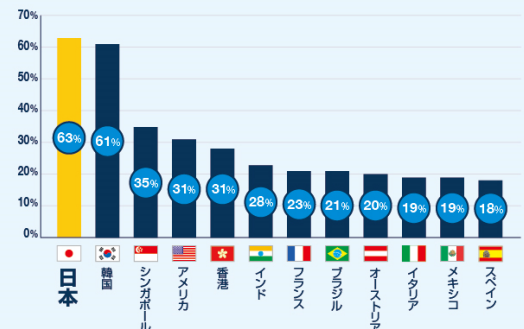
世界一！有給休暇取得に対して「罪悪感がある」日本人

有給休暇を取得することに対し、「罪悪感がある」と考える日本人の割合は6割以上にものぼり、世界で最も多い結果となりました。そのことが有休消化率の低さに繋がっていると考えられます。

調査結果URL

<https://welove.expedia.co.jp/infographics/holiday-deprivation2017/>

日本人は世界一真面目!? 有休取得に罪悪感を感じる人の割合



Expedia.co.jp

職場の空気を読む日本人。上司が有給休暇を取ることに協力的か「分からない」

日本人が休みを取らない理由の1位は「緊急時のために取っておく」という結果になりました。日本人は病気をした場合に有給休暇から取得することが多く、海外のように病気休暇が導入されていない企業が殆どです。そのため、有給休暇を使わずに取っておく人が多いことが伺えます。

次いで、2位に「人手不足」、3位に「職場の同僚が休んでいない」がランクイン。また自身の上司が有給休暇を取ることに協力的かを聞いたところ、「分からない」と回答した人が3割以上で、世界で一番多い結果となりました。職場の空気を読んで休みを取らない上に、有給休暇についてのコミュニケーションを上司としていないことが、日本人の低い有休消化率の一因となっているようです。

日本人が休みを取らない理由



2位

人手不足



1位

緊急時のために
取っておく

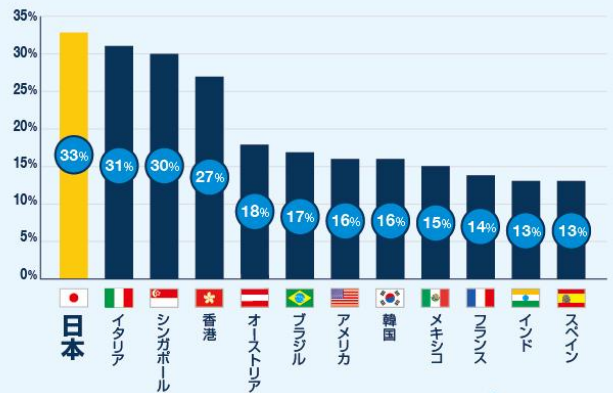


3位

職場の同僚が
休んでいない

Expedia.co.jp
お申し込み、エクスペディア

有休に関するコミュニケーション不足!? 上司が有休を取ることに協力的か 「分からない」人の割合



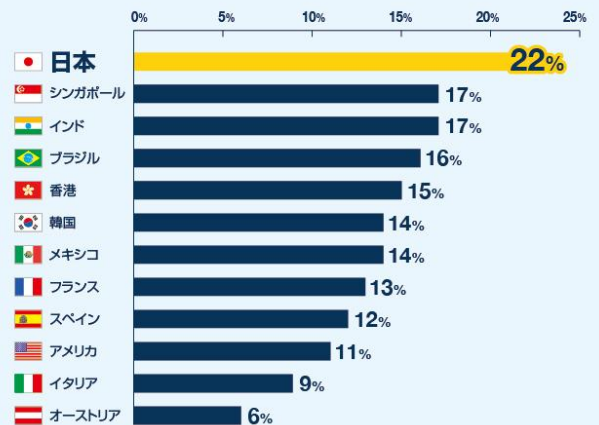
Expedia.co.jp
お申し込み、エクスペディア

休みの日も仕事！休暇中でも「一日中」仕事のメールをチェックしてしまう日本人

2割以上の日本人が、休暇の日でも「一日中」仕事のメールをチェックしてしまうと回答しました。この結果は世界各国の割合と比較しても一番高いです。日本人は休み下手で、休みの日も仕事のことが頭から離れていない様子が伺えます。



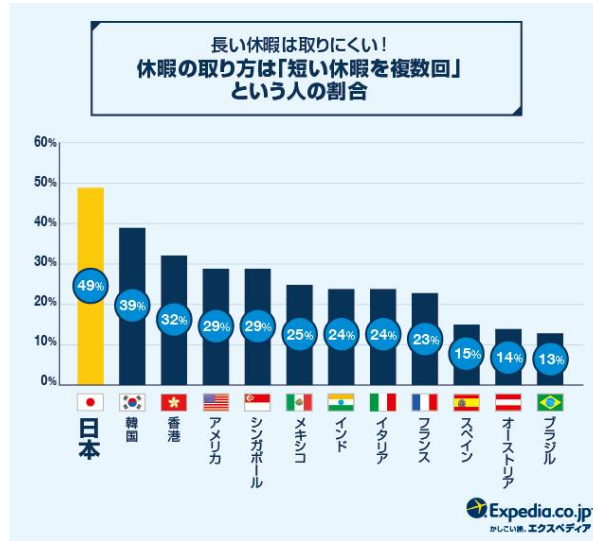
仕事人間な日本人！ 休暇中でも「一日中」仕事のメールを 見てしまう人の割合



Expedia.co.jp
お申し込み、エクスペディア

長期休暇は取りにくい？日本人は世界で一番「短い休暇を複数回」取得

休暇の取り方について聞いてみると、「短い休暇を複数回」取ると回答した人が約6割と、世界で最も多いことがわかりました。有給休暇の取得に罪悪感がある日本人にとって、長い休暇を取ることはハードルが高く、短い休暇に振り分けているのかもしれない。



転職活動では、「今より多くの休暇を取得できる」ことを最重要視

転職活動に際し、最も重要視するポイントについて聞いてみると、第1位は「より多くの有休が取得可能」という結果になりました。有休消化率が世界で最も低い日本人ですが、心の中でやはり、もっと有給休暇を取得したいと考えているようです。

転職活動で重要視することTOP3



Expedia.co.jp
かじいり株式会社 エクスペディア

■アンケート概要

- サンプル数: 計15,081名/30ヶ国
 - 調査対象: 日本、アメリカ、カナダ、メキシコ、オーストリア、デンマーク、フランス、ドイツ、アイルランド、イタリア、オランダ、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、イギリス、ブラジル、アルゼンチン、オーストラリア、香港、台湾、インド、マレーシア、シンガポール、韓国、タイ、アラブ首長国連邦、ニュージーランド、フィンランド、ベルギー、スイス
 - 調査期間: 2017年9月4日～15日 ■ 調査方法: インターネットリサーチ ■ 調査会社: Northstar
- ※本調査では小数点第1位で四捨五入しているため、足し上げても合計数値が100%とならない場合がございます。

客室のアップグレードや無料サービスが受けられる！ 世界のホテルによるVIP待遇プログラム「Expedia+」

エクスペディア独自のメンバープログラムで、「ポイントプログラム」と「ステータスプログラム」の2つの側面から「値段+αの付加価値」を提供します。

■ポイントプログラム:ポイントに応じて予約時に使用できるクーポン等を発行します。

■ステータスプログラム:ブルー、シルバー、ゴールドのランクに応じて様々なサービスが受けられます。

(例)+VIP Access 提携ホテル特典、会員限定のお得なプロモーション、予約でボーナスポイントを獲得(+ゴールドは30%、+シルバーは10%)、優先カスタマーサービス、Expedia Local Expertコンシェルジュ限定の特典

■+VIP Access 提携ホテル:

Expedia+ 会員に厳選した特典を提供するホテルです。ポイント面でのメリットだけではなく、朝食、ワインやスパが無料になったり、客室がアップグレードされたりと、VIP待遇を受けられます。

■+VIP Access 提携ホテルのサービス例:



無料シャンパンボトル



無料スパ



無料フルーツバスケット



無料ミニバー

【参考】業界初！世界のホテルによる+VIPサービス

エクスペディアを含む日本の大手旅行代理店の殆どがポイントサービスを提供しています。その中で、ステータスプログラムとして、ステータスごとにポイント還元率やポイントでの自社負担の優遇が分かれているのは3社。さらに深掘りし、自社負担のポイントサービスだけでなく、世界中のホテルと共同でVIPサービスを提供しているのは、エクスペディアのみという事がわかります。

	大手旅行会社比較 (海外旅行)			
	ポイントプログラム	ステータスプログラム	サービスの内容	
			ポイント優遇	ホテルによるVIPサービス
Expedia	○	○	○	○
A社	○	○	○	×
B社	○	○	○	×
C社	○	×	—	—
D社	○	×	—	—

エクスペディア概要

エクスペディア (Expedia) は、世界33カ国で展開する世界最大級の総合旅行サイトです。500社以上の航空会社と、50万軒以上の宿泊施設を取り扱っており、両者を組み合わせることで、1億通り以上ものツアーを提供することが可能です。エクスペディアの日本語サイト、エクスペディア・ジャパン(www.expedia.co.jp)では、ただコンテンツを日本語化するだけでなく、日本人向けの独自のインターフェースデザインの採用や、JCB・Visa・Master・AMEXなどの主要なクレジットカードによる決済、日本語による電話サポート(24時間年中無休)など、日本の旅行者の皆様が安心して使える環境も整備しています。

■Twitter: http://twitter.com/Expedia_Japan

■Facebook: <http://www.facebook.com/ExpediaJapan>

■LINE: @expediajapan

※Expedia およびエクスペディアのロゴは、米国 Expedia, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。その他の商品名、製品名、会社名などは、一般に各社の商標または登録商標です。